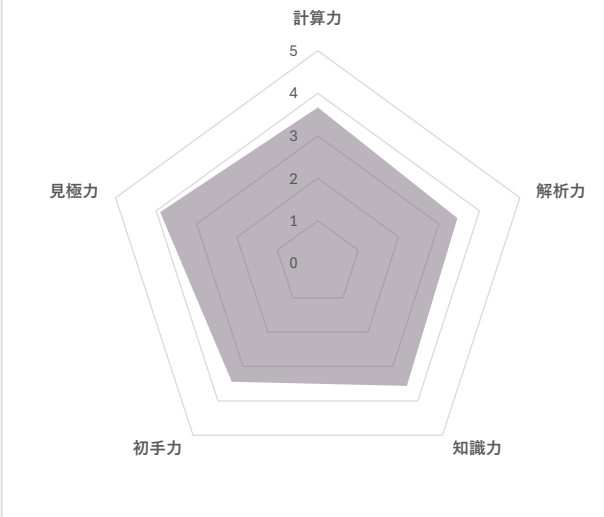


総合分析

試験区分 一般（後期）

制限時間 90分 大問数 全4問

合格に要する能力（5段階）



合格に要する能力（5段階）

計算力	3.5	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.3	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.4	解くことに必要な知識の量
初手力	3.2	初手の難しさ
見極力	3.7	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

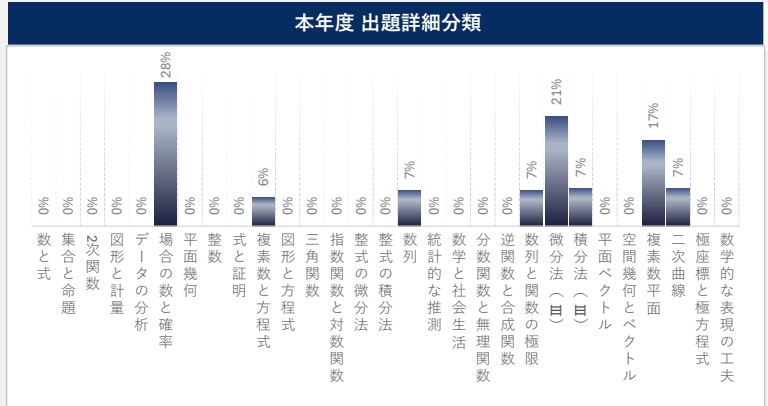
出題分野

数学 I	0%
数学 A	28%
数学 II	6%
数学 B	7%
数学 III	36%
数学 C	24%

本年度 解答形式
 論述 100%

本年度出題テーマ一覧

第1問	接線と無限級数
第2問	1の7乗根
第3問	双曲線と積分
第4問	条件付き確率



特殊問題の有無

記述あり	証明なし
数Ⅲあり	長文なし
統計なし	

総合評価

難度	3.4	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	72%
分量	90分	完答に要する時間（制限時間は90分）	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

- ▶ 使う知識は難しくないが、計算量が多い。面倒でも常に自力で求値しよう。
- ▶ 入試問題としてありふれた題材が多い。単純に演習量で十分に対策できる。
- ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておこう。

入試から見る大学が求める学生像

前期に続き標準的な問題が多く、高得点が必要なセットであった。数年前までに比べると取り組みやすい問題が増え、しっかりと基礎から勉強してきた基礎学力の高い学生を求めていると考えられる。